



2022年も気象変動に負けない米づくり！

酒田飽海の つや姫・雪若丸情報

第3号



令和4年6月14日発行
庄内総合支庁
酒田農業技術普及課
Tel(22)-6521 Fax(22)-6522

緊急!! 茎数少、生育が遅れています。

中干し時期迫る！急ぎ茎数確保を！

6月からの低温・少照の結果、6月10日の作柄診断圃等の生育調査では、茎数は平年より少ない傾向で、葉齢の展開も遅れています。「つや姫」「雪若丸」ともに分げつの発生が遅れ、茎数が思うように確保できていない圃場が見うけられます。この1週間が有効茎を確保できる重要な時期です。浅水管理を徹底し、地水温を高める水管理を行いましょ。

1 生育調査の結果

「つや姫」は、酒田市漆曽根と坂野辺新田、「雪若丸」は酒田市前川での調査結果です。5月31日、6月10日の調査データは表1、表2のとおりです。

表1 令和4年度「つや姫」作柄診断圃等の生育

場所	年次	移植期	5月31日					6月10日				
			草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)	土壌NH4 (mg/100g乾物)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)	土壌NH4 (mg/100g乾物)
酒田市 漆曽根	R4	5月11日	28.0	123	4.6	31.3	10.3	32.0	205	5.2	32.5	7.1
	R3	5月8日	29.3	141	5.0	25.7	8.3	29.7	228	7.1	38.6	4.2
	平年	5月11日	26.7	132	4.7	31.2	6.7	30.9	246	6.4	37.5	5.0
	平年比・差	0	105	93	-0.1	100	154	104	83	-1.2	87	142
酒田市 坂野辺 新田	R4	5月12日	23.2	184	5.1	-	6.7	24.8	296	6.0	35.4	4.0
	R3	5月13日	26.1	129	4.6	-	4.8	27.3	206	6.1	23.5	4.8
	平年	5月14日	25.5	118	4.6	27.0	4.2	28.6	226	6.3	32.6	3.8
	平年比・差	-2	91	156	0.5	-	160	87	131	-0.3	109	105
指標(庄内)								27.0	250	6.7	35.0	

表2 令和4年度「雪若丸」作柄診断圃の生育

場所	年次	移植期	5月31日					6月10日				
			草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)	土壌NH4 (mg/100g乾物)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)	土壌NH4 (mg/100g乾物)
酒田市 前川	R4	5月9日	19.4	155	5.5	29.9	8.9	22.7	259	6.5	39.7	8.3
	R3	5月11日	15.2	138	5.1	25.4	6.5	22.4	213	6.4	36.6	5.3
	平年	5月12日	22.9	147	5.2	30.9	6.9	29.6	333	6.8	41.3	6.3
	平年比・差	-3	85	106	0.3	-1.0	129	77	78	-0.3	96	132
指標(庄内)								26.0	280	6.8	41.0	

週間天気予報では曇りや雨の日が続くようですが、19日頃からは一転し高温と予報されています(6/13仙台管区气象台 発表)。少ない晴れ間や穏やかな日を有効利用するためにも、こまめな水管理を心がけましょ。また、田ワキが発生している圃場では、発生程度に合わせて対応ましょ。分げつ発生促進のポイントを次ページでチェックましょ。

2 中干し時期迫る ～分げつ発生を促進するには～

「つや姫」も「雪若丸」も有効茎確保期は6月20日頃までです。有効茎（穂になる茎）を目標通り確保するためには、この1週間が重要な時期です。茎数確保のポイントを再度確認し、適切な水管理を徹底しましょう。その後速やかな中干し・作溝作業で稲の生育を調節し、無効分げつを抑制することで、稲体の体力低下を抑えます。

< 茎数確保のポイント >

- 1 地水温が上がりやすいよう浅水管理(水深2~3cm)
- 2 日較差を確保し生育促進を図るため、水管理は昼間止水、夜間灌漑
- 3 強風や低温が続く時は、水深をやや深めにして稲体を維持
- 4 ワキの程度に合わせた対策(表3)

表3 分げつ初期から中期のワキの程度と対策

ワキの程度	生育への影響	対策
水田に足を踏み込むとわずかに気泡の発生がみられる	なし	—
水田に足を踏み込むと気泡の発生が多い	根の活力低下	水交換
水田に足を踏み込むと盛んに気泡を発生する	根張り不良	夜間落水
晴天時自然に気泡を発生し、音が聞こえる	根の伸長阻害、地上部黄化	田干し

3 目標とする生育を確認

収量・品質の安定化には、初期生育の確保が特に大切です。

表4を参考にご自身の「つや姫」「雪若丸」の生育状況を確認しましょう。

表4 目標とする生育

品種名	時期	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	1株あたりの 目標生育の目安 栽植密度		葉色 (SPAD)	葉数 (枚)
				70株/坪	60株/坪		
つや姫	6月10日	27	250	11.8	13.7	35	6.7
	6月20日	35	460	21.7	25.3	39	8.3
雪若丸	6月10日	26	280	13.2	15.4	41	6.8
	6月20日	34	520	24.5	28.6	44	8.5

4 中干し開始の目安は6月20日頃 ～中間管理技術は適期に行ってこそ～

中干し、作溝は、イネの無効分げつの抑制、上根の増加、受光態勢の良化、圃場の地耐力向上、出穂後の水管理の効率化などの効果があり、これからのイネの生育を支え、秋の収穫までの管理をスムーズにする優れた中間管理技術です。しっかり適期に行うことが最大限の効果に繋がります。

中干しのタイミングは、茎数が目標穂数の8~9割程度確保出来たら遅れずに

「つや姫」 目標穂数 440本/㎡ (株あたり20~21本)の9割
 中干しの目安 ㎡あたり茎数 **400本** 株あたり **18~19本**

「雪若丸」 目標穂数 580本/㎡ (株あたり27~28本)の8~9割
 中干しの目安 ㎡あたり茎数 **460~520本** 株あたり **22~25本**
 (いずれも株あたり本数は70株/坪の場合)



「農作業事故防止」 & 「熱中症予防」で安全作業を!